

会告 I

第 58 回日本・輸血細胞治療学会総会のご案内 (第 4 報)

第 58 回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋市の名古屋国際会議場におきまして下記の要領にて開催いたします。会期は平成 22 年 5 月 28 日 (金) より 5 月 30 日 (日) の 3 日間です。

今回の学会の開催に当たって「包括的輸血・細胞治療の確立」をテーマとしてすべてのプロセスを今一度検証し、さらに発展させることを目的と考えております。製剤が関与していると推定される TRALI への対策はどうすべきか、最近救命措置として増加している異型適合輸血の基準、あるいは検査はいかにすべきか、さらには生体肝移植、腎移植などの臓器移植における輸血療法はどうあるべきかなど是非多くの会員の熱心な議論を期待しております。学会の内容としては下記の特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ (一般演題から) や一般演題さらには機器展示などを考えております。

名古屋は 2010 年に開府 400 年を迎えます。ISBT アジア部会、日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム、日本血液事業学会総会、全国大学病院輸血部会議の合同会議の 6 ヶ月後でありますが多くのご参加をお願い申し上げます。

第 58 回日本輸血・細胞治療学会総会
総会長 高松 純樹
(愛知県赤十字血液センター 所長)

記

1. 会 期：平成 22 年 (2010 年) 5 月 28 日 (金) ~ 30 日 (日)

2. 会 場：名古屋国際会議場

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町 1 番 1 号

電話 052-683-7711, FAX 052-683-777

<http://www.ncvb.or.jp/ncc/>

3. 【総会テーマ】：「包括的輸血・細胞治療の確立」

4. 【プログラム】：(予定)

1) 特別講演 (仮題)

- ① 高等教育の諸問題
- ② 宗教的輸血拒否に関するガイドライン
- ③ HIV 感染症の諸問題

2) 村上記念賞受賞講演

3) シンポジウム (6 題)

- ① 血漿分画製剤の国内需給達成への課題
- ② 輸血検査の再考察
- ③ 後天性止血・凝固異常と輸血療法
- ④ 輸血医療における今日のリスクとは
- ⑤ TRALI と TACO
- ⑥ 過剰輸血 (Excess or overtransfusion) の現状と対策

4) パネルディスカッション

- ① 特殊血の今日的意義
- ② 安全な輸血医療に必要なコストはどこまで許されるか
- ③ 移植医療と輸血療法
- ④ 緊急・救急時での血液型の検査体制と輸血療法
- ⑤ 輸血医療とコ・メディカルスタッフ
- ⑥ 血液事業における広域運営体制と輸血医療

5) ワークショップ

一般演題から

6) 教育講演

1. 輸血後感染症：輸血医療とシャーガス病
2. 輸血後感染症：HBV の再活性化
3. 輸血医療と IT
4. 神経疾患に対する免疫グロブリン製剤治療
5. 血小板輸血禁忌の病態
6. 周術期大量出血と輸血療法
7. 新型インフルエンザと輸血医療
8. 細胞採取・管理のガイドライン
9. 健康被害救済制度
10. 我が国におけるヘモビジランス

7) 輸血問題検討部会

献血現場における献血者の安全性確保

8) 協賛セミナー（9～10 題）

5. その他

- ①日本血小板・顆粒球型ワークショップ
- ②認定試験受験のための講習会
- ③I & A 講習会

6. 関連行事

- 1) 各種委員会・総理事会 平成 22 年 5 月 27 日（木）
- 2) 社員総会 平成 22 年 5 月 29 日（土）
- 3) 会員総会 平成 22 年 5 月 29 日（土）
- 4) 会員懇親会 平成 22 年 5 月 29 日（土）
- 5) 機器展示 平成 22 年 5 月 28 日（金）～30 日（日）

【問い合わせ先】

- 1) 総会本部：第 58 回日本・輸血細胞治療学会総会運営事務局
愛知県赤十字血液センター内
〒489-8555 愛知県瀬戸市南山口町 539-3
- 2) 運営事務局：第 58 回日本輸血・細胞治療学会総会運営事務局
株式会社 ジェイコム 本社コンベンション事業本部内
〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-22 ハービス ENT11 階
電話：06-6348-1391, FAX：06-6456-4105
E-mail：58jstmct@visitors.jp
- 3) 総会ホームページ
<http://jstmct58.umin.jp/>